

社会性報告



日野グループが提供するトラック・バスなどの車両は、社会のインフラとして、人とモノの流れを支えています。そのため、良い商品に加え、お客様に質の高い整備・点検などのアフターサービスを提供することが非常に重要です。このことから、日野自動車（以下、日野）と全国の各販売会社は、「人とモノの流れを止めない」ことを使命とし、お客様の稼働の最大化に向け、整備設備や拠点の改良、整備力の向上に注力しています。また、社会における整備技術向上の基盤づくりに貢献しようと、自動車整備士養成学校へ講師を派遣するなど、次世代を担う人材の育成支援にも取り組んできました。2014年からは全国の販売会社と連携し、教材として役立ててもらえるよう、自動車整備士養成学校へ最新のエンジン寄贈を実施しています。

日野の事業外の社会貢献活動の重点領域の一つ「人づくり支援活動」に適うものとしてエンジン寄贈の活動をご紹介します。

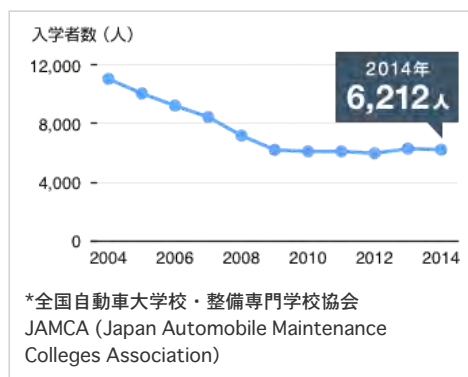
整備士養成学校における教材の重要性

整備士は、車両の品質を保ち、故障することなく、環境に配慮した安全な運行を実現するために欠かせない人材です。しかし少子化などの環境変化により、日本国内の整備士養成学校は入学者減などの課題に見舞われています。国土交通省が各高等学校訪問を行い、整備士という仕事の魅力を若年層にアピールして整備士養成学校への入学を促進する取り組みを行うなど、整備士養成は国の重要な課題ともなっています。

一方、優れた整備技術の習得には、技術の発展や社会の要請によってモデルチェンジしていく最新のエンジンを用いた実習が必要です。たとえば最近のトラックには、「コモンレール」と呼ばれる、排気ガス規制強化に対応した環境に優しい燃料噴射方式のディーゼルエンジンが搭載されています。2015年3月に実施された整備士の国家試験では、この最新型の燃料噴射方式についての問題が出題されました。

ただ、こうした新しい方式のエンジンから従来式のエンジンまで全ての教材を揃えるのは、各学校にとって負担が大きく、難しいのが現状です。実際の現物を触ってみることは、教科書のイラストで学ぶことよりも深い理解と納得感が得られると考えられ、教材の一層の充実が望まれています。

■ 全国の自動車整備士養成学校入学者数の推移



エンジン寄贈により整備士育成を支援



各地での寄贈式典写真

左から順に、千葉、三重、富山、石川、広島、高知

日野が行っているエンジン寄贈の取り組みは、こうした学校のニーズに応えるものです。

寄贈しているディーゼルエンジンは、現在日野が製造・販売している小型トラック「日野デュトロ」に実際に搭載されている最新のものです。全国各地の販売会社と協力し、業界のニーズを汲み上げ、整備士養成学校に対して、寄贈を行っています。各学校では、この最新型のエンジンを使用した分解・組立実習、コモンレール等の最新装置の実習に活用いただくなど、より良い教育の実施に役立てています。

多くの寄贈先では寄贈式を開催していただくなど、最新型のディーゼルエンジンが教育現場で待ち望まれていたことを実感いたします。優秀な整備士はもちろん日野にとっても必要な人材ですが、育成段階までさかのぼってお手伝いをすることで、日本の自動車業界全体の整備レベルの底上げ、基盤づくりに広く貢献したいと考えています。

学生が最新型エンジンに触れる機会を得られました

トヨタ東京自動車大学校理事・校長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

松浪 良樹 様

日本で最も歴史のある整備士養成学校の一つである当校では、自動車技術教育の先進校として、「技術を磨け、そして人間性も」という教育スローガンのもと育成を行っています。当校ではいわゆる高校の普通科出身の学生が約7割を占めるため、まずは基礎科目の勉強を重視しており、それを基盤にしつつ、時代に合わせてカリキュラムのウエイトの置き方を変化させています。

寄贈いただいたディーゼルエンジンは、最新型エンジンの燃料噴射について実物を見て、分解や組み付けを実際に行ってみるなど、活用させていただいています。学生も非常に強い興味を持っています。

今、社会では整備士志望者減などが課題となっていますが、質重視の募集・教育活動を行っていくということには変わりありません。女性の活躍推進、整備士職の魅力向上にも取り組む必要があると考えています。日野自動車の皆様には自動車メーカーとして、教育支援はもちろん、若年層への働きかけ、整備士の労働環境向上など、整備士育成のため引き続きご協力いただければと思います。



お客様への質の高いサービスの提供のために

東京日野自動車株式会社 管理部課長 高橋 宏治

当社で整備士として活躍する社員はほとんどが整備士養成学校の卒業生であり、学校とは強い結びつきと信頼関係を構築してきました。学校の要望にお答えし、当社の整備士を講師として派遣することもあります。そうした関係の中から学校のニーズを汲み取り、日野自動車と連携してエンジンと架台の寄贈を行いました。

寄贈にあたってのエンジン架台作成や納品時の技術説明など、さまざまな社員の協力があって実現できましたので、学校へお伺いし、実習場で実際に活用されているエンジンを見て大変嬉しく思いました。

我々販売会社には車両販売だけでなく、整備などのアフターサービスを含めたトータルサポートをお客様に提供するという使命があります。質の高い整備の鍵となるのは第一に整備士の技術力です。教材の充実が優秀な整備士育成に貢献することを願っています。



整備士養成に貢献したいと考えています

日野自動車株式会社 国内営業部 営業活動支援室 山本 万昭

整備士養成学校には、毎年優秀な人材を各販売会社へ多数輩出していただいています。同じ自動車業界を支えるパートナー的な存在であり、教材拡充の悩みについては共有化し、課題解決に向け支援したいと考えていました。そこで、我々ができるところからと、エンジンの寄贈を企画しました。

エンジンを寄贈した各学校では、非常に喜んでいただいています。「最新のディーゼルエンジンでの実習環境を整えることができ、大変助かった。」との声も頂戴しました。

整備士国家試験にコモンレール式燃料噴射が出題され、タイミング的にも良い時期に学校のニーズに応えられたのではないかと思います。

今後も、販売会社とともに業界のニーズを汲み上げ、整備士養成に貢献していきたいと考えています。

